

ひまけい



議会だより

No.2

2010.7.15

発行編集：日之影町議会報編集委員会



懸命の防疫作業

平成22年度補正予算（口蹄疫関連）	P2
議員定数問題	P3
一般質問	P4
口蹄疫の一日も早い終息を	P7

平成22年度 一般会計補正予算

約8,770万円追加

総額約44億2,270万円

【口蹄疫関連】

- 肉用牛出荷遅延対策事業補助金 約 490万円
- 家畜緊急保留施設整備事業補助金 約 330万円
- 各地域自衛防疫対策事業補助金 約 690万円

【その他】

- 森林整備加速化・林業再生事業（のこくず・おがくず製造） 約 1,400万円
- 水管橋改修事業 約 1,300万円
- 農地相談員委託料 約 140万円
- 景観計画策定事業費 約 140万円
- 生活環境改善対策補助金（水道施設2ヶ所） 約 60万円

西臼杵郡公平委員会の選任



大人の田中弘道氏を再任、
同意しました。
任期は26年8月までです。

家畜伝染病「口蹄疫」の発生に伴う国の支援等を求める意見書採択

【内容】

・口蹄疫については、感染を最小限度に食い止めるための防疫体制を実施すること。
・畜産経営者の安定経営に向けた支援策を講じること。等を国に要望。

平成22年第一回臨時会

【5月13日】

平成21年度 一般会計補正予算

予算総額約73億7,600万円

- 基金として……………2億7,400万円積み立て
- 基金残高は、特別会計を合わせ…20億9,700万円

繰越明許費

ひのかけケーブルネット
ワーク整備事業他18件総額
約20億6600万円を平成
22年度に繰り越すものです。

税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴
うもので、個人住民税の扶
養控除（1歳から16歳まで
の扶養控除の廃止を平成24
年度分から）の廃止、たば
こ税率の引き上げ（1箱3
00円のたばこが、400
円に、今年10月1日より引
き上げ）等です。

日之影町国民健康保 険税条例の一部改正

本年も医療費の増加等で
一世帯平均約4.6%の負担増
となります。



医療費上昇も止まれ

日之影町議会報に 関する条例の制定 について

議会活動や行政全般につ
いてその状況を広く町民に
知らせるための議会報です。
従来、任意の委員会として
活動していましたが平成17
年4月から町広報に掲載す
る形で発行してきました。
その過程において問題点反
省点を踏まえ協議を重ね、
委員会活動の位置づけを明
確にするため単独条例の制
定に至ったものであります。

議員定数2減の「8」 案否決!

議会では議員定数問題に
ついて昨年9月より行財政
改革特別委員会（甲斐健司
委員長）において7回にわ
たり協議を重ねてきたが合
意に至りませんでした。よ
つて本会議で決着を図るこ
ととなりました。本会議で
は甲斐徳仁議員の発議によ

る趣旨説明の後、反対討
論（杉本道生、大村直登、
谷川定士、佐藤功、佐保満
男）賛成討論（甲斐健司、
福田裕生、甲斐喜夫）の順
で交互に登壇し主義主張を
述べました。採択の結果、
反対5賛成4で否決されま
した。

なお議員各々の意見内容
は町議会事務局内の議事会
議録でご覧になれます。

常任委員会所管事 務調査報告

総務文教常任委員会

(1) 町内保育園の現状

中央保育園と八戸保育
園の園児数が減少。特に
八戸保育園は2年後には
10名近くまで減少が予想
され、各保育園共、独立
採算制をとっており、10
名を割り込むと園の統廃
合も予測される。

(2) 町内における子育て 支援の状況

町単独事業

- ① 子育て支援事業
中学入学時3万円（商品
券）
- ② 子ども医療費助成事業
小学校から中学校終了ま
で1千円を控除した額
- ③ 保育料軽減
園児3人目以降無料化

出生数20名を割り込む
可能性がある。国の制度
事業を含め町単独での施
策を踏まえ、人口増につ
ながる住宅団地等の整備
が重要であると思われる。



資源等調査特別委員会

委員長 佐保満男

舟の尾神社にある「おがたまの木」の巨木は周囲が茂っておりもう少し周辺の整備が必要と思われる。今後八戸観音滝、藤江監物父子の墓等の貴重な文化史跡等は、吾味、槇峰間のセラピーロードと一体化した活用を期待したい。



八戸観音滝

一般質問



傍聴される宮水小6年生と民生・児童委員の皆さん

「本町基幹産業の行方について」

谷川 定士

問 雇用の場対策ビジョンとそれを受けての施策見直しの考えを伺う。

町長 本町は平成17年策定の第四次長期総合計画

により、独自の価値を追求する「ひのかげブランド」づくりを基幹産業の基本構想としているが、担い手不足、高齢化、長引く不景気、輸入産物の増加等により大変厳しい状況である。限られた農地や気候の有効活用、低コストで、高収益の水稻をベースに、果樹、花卉、畜産物等による複合経営農業を推進している。雇用の場対策ビジョンとして、ある程度の専門化したハウスの団地の造成や集約化等により若者の新規就農の確保、育成に努めている。県の補助事業に加え、町独自で、各種支援事業を実施している。更に平成21年度から、担い手支援事業として必要経費の1/2補助もを行っている。農地賃借による経

営規模拡大、集落営農の組織化、果樹剪定班、オペレーター等の育成で、農作業の受委託促進を図り、農業経営基盤を強化すること、又高千穂地区建設業協会に於いても緊急雇用対策事業を活用する耕地の基盤整備や農作業の受託の組織づくりについて申し入れがあり新たな雇用の場として期待される。

問 町の高齢者施設の現況について伺う。

町長 町の高齢化率は、40%を超えており、現在有る施設の入所待機者は、八戸清流園に20名程度、青雲荘が70名程度で今後も増加すると予測される。第四期介護保険事業計画において県の補助を受け、認知症対応型共同生活介護施設の整備を行い、23年度に開設の予定である。

「防疫対策の徹底を」

甲斐健司

問 家畜伝染病口蹄疫に對する4月20日からの消毒の徹底は図られたのか。

町長 4月21日町対策本部の設置、4月23日舟の尾国道脇に自主消毒ポイント設置、4月28日各種のイベントの自粛を要請、5月4日全畜産農家に炭酸ソーダの配布、5月14日より舟の尾消毒ポイント24時間体制に強化、5月18日国道からの各入り込み道路に消石灰随時散布、町内各施設に消毒マット配布、5月22日国道に消毒用マット設置、その他防災無線、広報紙、広報車により各家庭における消毒の徹底を御願いしました。又6月15日までに行ける可能な限りの対策は行っています。

問 畜産関係の代表者との協議に対する支援策は十分に行われるものか。

町長 セリ市の延期による飼料費、保留する場所、経営における資金においては国県の助成措置と調整を行いながら予算については議会で承認を頂きましたので直ちに実行します。今後においても議会の御理解を得ながら支援策の予算を含め対応していきます。

問 口蹄疫に対する各学校での対応は。

教育長 各学校の玄関、児童生徒の出入り口に消毒マット設置し靴底の消毒の徹底、又手洗、うがいの励行を指導しました。食の教育については不安や誤解のない様に伝えました。又保護者向けの文書の配布をしたところでもあります。

問 不審者による声かけ事案に対する対策は出てきているか。

教育長 発生した場合はその都度関係機関へ連絡し、

学校において児童生徒への指導を行いその日のうちに注意喚起の為保護者向けの文書を配布しています。一部見守隊に情報が届かなかつたところがありました。今後、教育委員会、警察関係機関等学校への正確で迅速な連絡体制を確立し更なる危険防止安心安全確保の為、取り組んでいきたい。

「5年後・10年後に向けた本町教育行政のあり方について」

甲斐喜夫

問 本町の教育的特性（現状分析）についてどう考えるか。

教育長 統廃合後各学校の独自性ができ落ちついた学習、学力向上面では郡、県レベルの学力検査等で上位ランクでその成果をあげている。又学習活動やスポーツ活動が盛んになり学校に活気がでてきた。

問 複式学級等の兼ねあうから今後統廃合をどう考えるか。

教育長 宮水小学校以外は複式学級がそれぞれ2つある。中学校においては、高校進学等諸条件を総合的に

に考え日之影中学校統合という選択は期待通りの成果をあげている。複式学級については、単式学級の生徒に決して引けをとつていない。むしろ指導が行き届き、郡内でも上位の成績を収めている。統廃合に関しては今後状況を慎重に見極めながら研究、検討していきたい。

問 小中一貫校教育をどう考えるか。

教育長 県教育委員会は「一貫教育普及・支援事業」を実施。本町では中学校教員に小学校への兼務発令を行い、中学校の教員が専門性を生かし、小学校で授業を実施している。最良の取組と考えている。要は問題

が多く無理が生じるような取組は、児童・生徒の為にいくら銘打つても小中一貫の取組の有効性を認めること

とはできないことから現在の取組みは今後も安定した能力の発揮を期待できるものと考え、更なる新しい工夫や努力は現段階においては考えていない。今後小中一貫教育については勉強会等を通して調査・研究していきたいと考えている。



2・3年生一緒に道徳の学習

「口蹄疫対策について」

佐藤 功

問 口蹄疫発生後の町内の経済的損失を試算しているか、又、その影響に對しての対応策を伺う。

町長 5月競り市が中止になっただけでもJA畜産部試算によると約2070万円の減収の可能性との事、この他商工業、観光業、林業分野等で影響が考えられ簡易調査の結果5月分だけで約500万円程度で畜産との合計で2500万円程度の経済的損失が見込まれる。対応策としては国県の動向を注視し、公的補助や資金融資、利子補給を適宜適切に行っていききたい。

「本町諸行事の在り方について」

問 少子高齢化、人口減少の中にありながら縦割り行政の行事が数多く行われているが、優先順に行事の統合集約化は出来ないか何う。

町長 諸行事の簡素化、統合については町民皆様や各方面から声をいただ

や各方面から声をいただいている。行政主催の分や教育事業上計画が上がっているものは予算が伴うので即座に対応できないが、統合集約の方向で協議したい。また、共催の事業は各種団体とも協議を図り統合集約の方向で進めて参る。

教育長 学校の統廃合も進んだが行事は10年前と変わらない。関係機関の皆様と整理の方向で検討を進めたい。

「ケーブルネットワーク整備後の不要になる既存施設について」

問 各地区のテレビ共聴施設及び集落放送は無用の長物となり屋外線、電柱は森林セラピー基地としての景観上好ましくなく撤去が望ましいと考えるが対策をお持ちか何う。

町長 テレビ共聴施設は産業廃棄物としての適正処理が求められる為専門業者による速やかな撤去が必要と思われる。NHK共聴分は幹線分はNHKで、それ以外は町で撤去し財源はNHKからの補助金を充てる。一般共聴施設は国のデジタル化支援補助金が撤去費用も今年度から対象になり現状を調査し支援策を検討する。なお、集落放送については特定の集落であり設備も簡易であることから、設置者の責任で撤去して頂きたい。



耕作田に立つ電柱

「TR列車の宿について」

福田 裕生

問 今後のアイデアは、温泉駅との連携は。

町長 温泉駅一階部分の一体的な整備を行い、アロムルーム、案内所、事務所の新設、TR鉄道資料室の整備を進め、おもてなしによる観光サービスの向上を図る。

問 子供、一般の方々によるアイデア募集は。

町長 行政が中心となって考えていくよりも、なるべく多くの方々から意見を聞いた方々が良い物が作れると考える。各部屋に「思い出ノート」を設置して、色々なアイデアをお寄せいただいている。思い出ノ

トにより、冷蔵庫の配備も行ったところ。です。

問 マンネリ化を防ぐためには。

町長 お客さんのニーズに合った施設運営を目指し、宿泊者は何度でも温泉が利用できる温泉乗車券の発行、更に朝食については、飲食店組合により写真付メニューにより注文をいただくことになった。四季を通して見て楽しみ、泊まって楽しむ環境を整える。



快適な室内

緊急質問

■ 甲斐徳仁

【問】絶対にあつてはならない本町への感染だが、感染した場合には初動体制と、殺処分後の土地の確保が急務である。対象地の確保について伺いたい。

【答】発生した場合には15時間以内の埋却と職員の役割分担等も出来ている。

尚、埋却場所等については控えさせていただきたい。

■ 甲斐健司

【問】日向に発生しました口蹄疫は防疫対策は十分に行われていたと思われるが、それでも発生しました。日之影町はそれを上回る対策が求められます、さらなる防疫対策強化の必要があると考えますがその対策は。

【答】私もそのような観点からさらに築崎、今別府、矢形の上、諸和久下の県道に町独自で自主消毒ポイントの設置を計画し6月17日までに完了する事になっています。

一日も早い終息を!!

4月9日に都農町で家畜伝染病「口蹄疫」の症状のある牛の届があつて、その後猛スピードで感染が拡大しました。町議会として、その対応策について臨時議会を開催し町当局に緊急質問を行い、又、6月8日の本会議においても同様の質問を行ってきました。未だ先の見えない状況の中で町民の方に意見を伺いましたので一部掲載させていただきます。

◎畜産関係農業者はまさに天災激甚災害の口蹄疫に大変心労苦勞なされている事と察します。日之影町は第一次産業が活性化されなければ町全体に悪影響が出てきます。私の店も入口に防疫のためにシートマットを置いて蔓延防止に協力しています。共に頑張ります。(K・I)

◎各種行事、イベント等の中止、延期によりお客様が減少していますが頑張ります。(H・K)



自主的に設置された消毒マット



再開を待つ牛市場

とじやろかい!という不安、それに伴う収入の減。生活費、資金の回転等。さらにウイルスの侵入を許せば改良してきた母体の喪失等が考えられる。あきらめないで頑張つて行きたい。(H・I)

◎私達仔牛生産者は、ウイルス侵入防止にあらゆる手段を行っていますが、先の見えない状況で牛のセリ市が5月7月と延期。さらにその次のセリ市はどうなる



出荷を待つ牛

議会への 要望書

竹の原公民館より、竹の原下線の継続的な改良と集落内水源の改修のための要望書が提出されました。

ケーブル ネットワーク 事業

ひのかけケーブルネットワーク事業は、(株)ケーブルメディアワイワイ(延岡市)等の受注も決定をし、いよいよ本工事に着手されます。なお本事業の詳しい地元説明会は口蹄疫関係で遅れていますが、今後機を見て随時開催の予定です。

リバーパーク

ひのかけ(仮称)

今回八戸ダム湖や周辺の鉄道敷地跡を活用し「木田組生コン(有)」社さんの手により観光開発事業に着手されます。計画ではダム湖遊覧ボート(約20艘)軌道敷き跡の遊覧カート(約15台)。

また、地場産品を取り入れた食の提供と加工品の販売等も計画され、随時計画的に整備される予定です。

今後町内森林セラピー施設と運動して新たな地域おこし若者の雇用の場の創出(5〜8名程度)としての期待が高まります。



議会のうごき

(平成22年4月~6月)

- 4月8日(木)中学校入学式
- 9日(金)小学校入学式
- 11日(日)高城山山祭り(山開き)
- 11日(日)中川チューリップ祭
- 12日(月)第43回商工会青年部総会
- 16日(金)西臼杵郡議長会
- 16日(金)日之影町戦没者慰霊祭
- 17日(土)鹿川交流センターオープン記念式典
- 22日(木)列車の宿オープンングセレモニー
- 23日(金)行財政改革特別委員会
- 24日(土)石垣の村棚田まつり&トロツコ道ウォーキング大会
- 25日(日)神楽まつり
- 27日(火)議会運営委員会
- 28日(水)資源等調査特別委員会



日和り恵まれた棚田まつり

- 29日(木)傾山山開き
- 30日(金)林活議連役員会(森林・林業活性化議員連盟)
- 5月7日(金)議会運営委員会
- 11日(火)県町村議長会役員会
- 12日(水)総務文教常任委員会調査
- 13日(木)第1回臨時会
- 16日(日)深角駅チャリテイーコンサート
- 17日(月)19日(水)全国議長会研修会
- 21日(金)林活議連総会
- 24日(月)九州横断自動車道期成会役員会
- 26日(水)老人福祉大学入学式
- 6月3日(木)議会運営委員会全員協議会
- 8日(火)本会議(初日)
- 10日(木)一般質問
- 11日(金)竹の原集落要望
- 15日(火)本会議



ほしやの皆さんお疲れ様です

編集後記

今年は雨が多く田植えも順調に済んだ事と思いますが、かつて経験のない大規模な「口蹄疫」発生によりあらゆる産業界が経済的ダメージを受けました。その様な中、ワールドカップでの侍ジャパンのチームワークと結束力には感動と元気をもらいました。我々もその姿勢を見習って「口蹄疫終息」に向けて町民一丸となり頑張りましょう。この広報が発行される頃には終息に向かっていてる事を切に望みます。

議会に案内頂きました

- ・高城山山祭り(大人公民館)
- ・鹿川交流センターオープン記念式典(鹿川地区活性化協議会)
- ・石垣の村棚田まつり(石垣の村管理組合)
- ・神楽まつり(町神楽保存会)